

令和7年度

中学校A日程入学試験問題

国 語

受験上の注意

- ◎ 時間……………50分
- ◎ 解答はすべて、別紙解答欄^{らん}に記入すること。
- ◎ 字数制限のある場合、句読点、カギなどの
記号も字数に入れるものとする。

第一問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(なお、本文では関西地方の方言が用いられている。)

「とにかく走ることが好きな走^{かけろ}だが、問題行動を起こし、高校では陸上部を辞めた。大学に入学してからも貧乏生活のなか走り続ける走に、ハイジ(清瀬)は自分が管理をする竹青荘(アオタケ)に住むことをすすめる。ハイジは、走やアオタケに住むジョータ、ジョージ、ユキ、神童、ニコチャン、王子、ムサ、キングもむりやり陸上部に入部させ、「箱根駅伝」へ出場させようと練習させている。ほとんどのメンバーのタイムがよくないことへの不満から、走がメンバーに乱暴な言葉をぶつけたため、喧嘩^{けんか}になった。以下はそれをハイジが止める場面である。」

「いいかげんに目を覚ませ! 王子が、みんなが、精一杯^{せいいつぱい}努力していることをなぜきみは認め^{みと}ようとしない! 彼ら^{かれら}の注^注真摯^{しんし}な走りを、なぜ否定^{ひてい}する! きみよりタイムが遅い^{おそ}からか。きみの価値基準^{かち}はスピードだけなのか。だったら走る意味はない。新幹線に乗れ! 飛行機に乗れ! そのほうが速いぞ!」

「ハイジさん……」

清瀬のあまりの剣幕^{けんまく}に、走のみならず部屋中の人間^{おにんご}が驚いて動きを止めた。

「気づけよ、走。速さを求めるばかりじゃ駄目^{だめ}なんだ。①そんなのはむなし。俺^{おれ}を見ればわかるだろう? いつか無理^{無理}がくる……」

清瀬の言葉^{ことば}がふいに途切^{とぎ}れた。走のシャツをつかんでいた手から力が抜け、清瀬はふらふらとよるめいた。

「ハイジさん!」

走はあわてて、清瀬の体を支えた。「ハイジさん、どうしたんですか!」

清瀬は青ざめ、ぐったりと目を閉^とじている。

「ちょっと、ハイジさん! しつかり!」

走が頬^{ほお}をはたいても反応^{はんおう}しない。「どうしよう、意識^{いしき}がないですよ!」

「えー！」

部屋のなかはパニックに陥った。ユキがすぐに清瀬の手首を取って脈を見る。

「双子、布団を敷け！ だれか、救急車。いや、医者を呼んだほうが早いな。大家さんに言って、すぐに往診頼め！」

ジョータとジョージは押入から布団を出しながら、「ハイジさん、死んじゃやだー」としゃくりあげ、神童とムサは窓から母屋に向かつて、「大家さーん！ 助けてくださいーい！」と叫び、王子はあわてふためいて一階に水を取りにいき、度を失ったキングはただうろろうした。

走はニコチャンとともに、清瀬を布団に横たえた。②「そう心配するな」とユキに言われても、走は清瀬の枕元から離れようとしなかった。大家が呼んだ近所のかかりつけ医が来るまで、走はうつむいて清瀬のそばに座っていた。

診療時間はとつくに過ぎていたが、顔なじみの老内科医は、すぐに駆けつけてきてくれた。医者は、布団を取り囲む住人たちをかきわけて清瀬に近づき、まぶたをめぐったり聴診器を押し当てたり掌で熱の有無を確認したりした。そしてみんなを見まわし一言、

「過労」

と言った。「貧血を起こしたようだが、いまは気絶してるというより、寝てる」

「寝てる……んですか」

住人たちはいつせいに、医者から清瀬に視線を移した。たしかに、キ則正しい呼吸とともに、清瀬の胸が静かに上下している。悪い病気ではなくてよかったが、大騒ぎして医者呼んだのはなんだったんだと、気が抜けた。

「睡眠不足で疲れがたまっただろう」

医者は黒い靴を探り、手早く注射器の用意をした。「栄養剤を打っておこう。今夜はこのまま休ませなさい。なにかあったら、また電話してきていいから。じゃ、お大事に。あまり無理をさせちゃいかんよ」

「ありがとうございます」

一同は礼を言い、ユキと神童が玄関まで医者を送っていった。注射針が肌に刺さっても、双子がタオルケットをかけなおして

も、清瀬は眠りつづけていた。

「俺のせいです。俺がハイジさんに心配かけたから……」

走はうなだれ、清瀬の寝顔を見守った。悔しくて情けなかった。六道大の藤岡ですら、清瀬の体調がよくないのを見抜いていたのに、走はなにも気づけなかった。走りに集中しすぎるあまり、一緒に暮らしているひとのことすら、目に入らなかつたのだ。

布団を挟んで走の向かいに座った王子が、力なく首を振った。

「そうじゃない。僕がいつまでたつても速く走れないのがいけないんだよ」

釈迦の入滅を知った森の動物たちのように、走たちは A 布団のまわりに集まっていた。見送りから戻ってきたユキと神童は、通夜のような雰囲気なたじろぎつつ、畳に腰を下ろした。

「考えてみれば、私たちはすべてをハイジさんに任せっきりでした」

とムサが言った。

「そうだよなあ」

キングが腕を組む。「記録会へのエントリーとか、事務的なこともそうだし、飯を作るのだって全部ハイジがやってくれた」

「監督兼コーチ兼マネージャー兼寮監みたいな働きぶりだった」

とジョータ。

「練習だけでいっぱいいっぱいだつたせいもあるけど、それにしても僕たち、ハイジさんに負担をかけすぎていたね」

神童は苦い思いを噛みしめているようだ。③ ジョージがあえて明るい口調で提案した。

「これからはさ、せめてご飯を作るのぐらいは当番制にして、みんな協力していこうよ」

そこで同意の声が上がった。

「そうとなつたら、仲直りだな」

ニコチャンは言つて、走と王子を交互に見た。

「はこ」

王子はあっさりとして、走はおとなげなかった。b タイドが気まずくておずおずと、うなずいた。

「双子も、走を許してやれ」

とユキが言うと、ジョータとジョージは照れくさそうにちらつと走を見、「もちろん」と声をそろえた。

「さあ、手打ちだ」

とニコチャンが音頭を取った。「ハイジの遺志を無駄にするな。一丸となって箱根に行こう」

「おう！」

清瀬の眠る布団越しに、竹青荘の住人たちは固く手を握りあつた。

「俺は死んだ覚えはないぞ。縁起でもない」

と声かして、走ははつと枕のほうを見た。清瀬が目を開けていた。

「まったく、なんの騒ぎだこれは」

腹のうえで複雑に絡みあつた住人たちの腕をどかし、清瀬は身を起こそうとした。

「寝ててください」

走は急いで清瀬の肩を押し、再び布団に横たわらせる。「ハイジさん、倒れたんですよ。」

B

で貧血を起こした、つてお医

者さんが言っていました」

「そうか。迷惑をかけた」

自分を覗きこんでいる走の顔を、清瀬は見上げた。「でも、喧嘩は終わったみたいだな。よかった」

走は改めて正座をし、「すみませんでした」と頭を下げた。

「俺、ずっといらいらして、あせていました」

「注3 ユキの部屋からの音漏れがうるさいせいだろうか？」

ニコチャンが「わかるぜ」と共感を含んだ目で言った。

「それを言うなら、注4 天井の軋みのせいじゃないか」

ユキの言葉に、^④ やましいところのある王子がびくつく。走は急いで、「いえ」と言った。

「アオタケに来るまえからです。ただ走るだけで、あんまりまわりが見えてなかった」

どうすればいいのか、いまま本当のところよくわかっていない。速さ以外の、なにを指標にして走っていくべきなのか、走はま
だ見いだせなかった。でも、と走は顔を上げる。

「これからは、俺も本気で箱根駅伝を目指します」

「ええー!？」

双子の部屋は驚愕で揺れた。

「これからは、つて、じゃあいままではなんだったの?」

ジョージは嘸みつきそうな勢いだ。

「いや、なんとなく話を合わせておこうかな、つていうぐらいだった」

走は正直に言った。「どうせすぐに、みんな飽きてやめるだろうと思ってたし。ごめん」

「その程度のモチベーションなのに、よくあれだけ練習できるね」

と、神童は感心しきりだった。

「俺、走る以外に得意なことがないですから」

走は真面目に言ったのだが、ユキは「やれやれ」と首を振り、キングは「おまえ変態だな、走」とあきれかえった。

⑤ 走つてすこいよねえ。すごすぎておかしいよ」

ジョージが笑いを押し殺す。おかしいってなんだ、と走はちよつと憤然としたが、清瀬までもがうなずいているのを見て、
抗議はしないでよかった。

「漫画を読むのはやめられないけど、僕ももつと頑張ることにする」

と、王子が顔を上げて宣言する。

わだかまりがまったくなくなったわけではないが、同じものを目指していこうという気持ち、はじめて全員の胸に、等しく芽

吹いた。

その様子を眺めていた清瀬が、

「走」

と呼んだ。走は正座したまま、枕に頭を載せている清瀬に少し近づいた。

「長距離選手に対する、一番の褒め言葉がなにかわかるか」

「速い、ですか？」

⑥ 「いいや。『強い』だよ」

と清瀬は言った。「速さだけでは、長い距離を戦いぬくことはできない。天候、コース、レース展開、体調、自分の精神状態。そういういろんな要素を、冷静に分析し、苦しい局面でも粘って体をまえに運びつづける。長距離選手に必要なのは、本当の意味での強さだ。俺たちは、『強い』と称されることを誉れにして、毎日走るんだ」

走も、ほかの住人たちも、清瀬が語ることにじつと耳を傾けた。

「この三カ月、きみの走りを見て、俺はますます確信した」

と清瀬はつづけた。「きみには才能と適性がある。だからね、走。もっと自分を信じる。あせらなくていい。強くなるには時間がかかる。終わりはないと言つてもいい。老人になつてもジョギングやマラソンをするひとがいるように、長距離は一生をかけて取り組むに値する競技なんだ」

走ることへの走の情熱は、常に曖昧な情動にも似て、走の心を不安定に揺らがせている。だが清瀬の言葉は、もやもやと暗くたゆたうばかりの走の内面に、なんて鮮やかに切りこんでくるのだろう。それは胸を一闪し、なだれをうつて走を照らす光だ。

(三浦しをん『風が強く吹いている』より)

注1 眞摯 …… 本気で取り組む様子。

注2 釈迦の入滅 …… お釈迦さまが亡くなったこと。弟子だけでなく、動物も多く集まり静かにその死を悲しんだとされる。

注3 ユキの部屋からの音漏れ …… ユキは周囲の迷惑にかかわらず、「アオタケ」の部屋で大きな音を立てて音楽を聞く習慣があった。

注4 天井の軋み …… 「アオタケ」が古い建物なのに二階に住む王子は大量の漫画本を部屋に置いていて、一階の天井がきしむ音が度々聞こえていた。

注5 憤然 …… はげしく怒る様子。

注6 曖昧な情動 …… 内容がはっきりしないが、感情によって起こる怒りや悲しみ、喜びや驚きなど、急に起こって短い間に治まるもの。

注7 たゆたう …… 気持ちが決まらずためらう。心を決められない。

注8 一閃し、なだれをうつて …… 「一閃」はぴかりと光ること。「なだれをうつ」は、山の斜面などに積もった雪がくずれようにはげしく何かが起こる様子。ここでは、もやもやと暗い気持ちの走の胸にはげしく前向きな希望の光が差し込んだ様子。

問一 〰〰〰線について、次の問いに答えなさい。

(1) 〰〰〰線 a 「キ」と同じ漢字を使った文を、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、友だちと協力して山に秘密基地を作った。

イ、この工場で作られたキ械の動きは正確だ。

ウ、広島市は人口百二十万人キ模の大都市だ。

エ、机の上のコンピュータの電源をキ動する。

(2) 〰〰〰線 b 「タイド」を漢字で答えなさい。

(3) 〰〰〰線 c 「真面目」の読み方をひらがなで答えなさい。

問二 〰線①「そんなのはむなし」とありますが、清瀬がこう言ったのはなぜですか。次の文の に当てはまる表現を

本文中から九字で抜き出して答えなさい。

● 清瀬は長距離選手に求められるのは だと考えているが、走はスピードだけにしか価値を感じていないから。

問三 〰線②「『そう心配するな』とユキに言われても、走は清瀬の枕元から離れようとしなかった」とありますが、走が清瀬

の枕元から離れようとしなかったのはなぜですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、清瀬が倒れたのは、走が周りのことを考えず、自分の考えだけで行動し、清瀬に心配をかけたせいだと思ったから。

イ、清瀬が一番頼りにしているのは走なので、ほかの部員ではなく、自分が清瀬に付き添うことが一番いいと考えたから。

ウ、清瀬の病気の具合が予想よりかなり重く、わずかな時間でも目を離せないような危ない状態だと判断したから。

エ、清瀬が部員のために練習だけでなく、寮の管理や食事の世話などまでしていたことに初めて気づき、感動したから。

問四

A にあてはまる表現として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、じつくりと

イ、どんよりと

ウ、がやがやと

エ、しんみりと

問五

——線③「ジョージがあえて明るい口調で提案した」とありますが、何のためにこういう言い方をしたのですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、清瀬に対して走があまりにも無神経に対応するのでいらだっていたが、走との喧嘩をとりあえず止めるため。

イ、清瀬の状態は回復に向かっていることが分かり、もう安心してよいということを部員みんなにわかってもらうため。

ウ、清瀬が倒れたことの原因ばかりを考えて暗くなっている部員たちに、対策を示すことで明るくならってもらうため。

エ、清瀬の前ではなるべく楽しそうに振る舞うことによって、清瀬に部員を心配することなく病気を治してもらうため。

問六

B には医者が清瀬の体の不調を判断した言葉が入ります。本文中より二字で抜き出して答えなさい。

問七

——線④「やましいところのある」のここでの意味として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、心にうしろめたく思うことがある。

イ、行動にずるがしこいところがある。

ウ、長く不満に思っていることがある。

エ、意味もなく大声で話すことがある。

問八 — 線⑤「走ってすごいよねえ」とありますが、ジョージは走のどのようなことに対して「すごい」と感じているのですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、生きるうえで走るのが一番大事で、そのためにはなんでもやってしまうこと。

イ、大会への出場などの目標とするものがなくても、トレーニングを続けられること。

ウ、周りの人がついてこないことに怒るくらい、何よりもタイムにこだわっていること。

エ、タイムは他の部員より速いが、実際には練習やトレーニングを一切やっていないこと。

問九 — 線⑥「いいや。『強い』だよ」とありますが、清瀬は「強い」をどのようなことだと考えていますか。具体的に書かれた連続する二文を本文中から抜き出し、初めの五字を答えなさい。

問十 本文中に書かれた内容を次のようにまとめてみました。Ⅰは十六字、Ⅱは十一字で本文中からそれぞれ抜き出し、

Ⅲは本文中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

● 以前の走 ……速さを求めるばかりでタイムがよくない部員の努力を認めない。

周りは走がやる気で満ちていると考えていたが、実は他にとりえがないし、周囲が盛り上がっているの

で、Ⅰ、という気持ちで練習していた。

←

● 清瀬が倒れる……自分が走るだけで、Ⅱ ことに気づき、王子たち部員とも仲直りをし、Ⅲ ことにするが、ま

だ、速さ以外の何を目標に走って行くかを見いだせていない。

←

● 現在の走 ……清瀬の言葉に納得し、速さ以外の目標を見いだしつつある。

第二問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今から一〇〇〇万年前のことである。

注1地殻変動が活発になると山や谷などさまざまな地形が生まれ、それまで安定していた気候も変動するようになった。そして、乾燥した大地も広がるようになったのである。

そんな乾燥地帯で進化したのがイネ科植物である。イネ科植物はユリ科植物から進化したときれている。

① 植物は、もともと風で花粉を運ぶ風媒花から、効率よく昆虫に花粉を運ばせる虫媒花として進化した。ユリ科の植物は、昆虫を呼び寄せるために美しい花を咲かせる。しかし、乾燥した大地では花粉を運ぶ昆虫は少ない。そのためイネ科植物は風媒花として再び進化を遂げたのである。草原は、昆虫は少なくても風通しがよく、風が吹き抜けていく。昆虫に花粉を運ばせるよりも、風で一気に花粉を運ぶほうが効率的である。

現在でも、イネ科植物の中に花粉症の原因植物となっているものがあるのは、イネ科植物が風媒花だからである。

② イネ科植物は草原で劇的な進化を遂げた。

深い森と異なり、植物が少なく、開けた草原では、草食動物は少ない植物を求めて餌にする。すると、植物は草食動物に食べられ放題になってしまっているのである。

そこでイネ科植物は、茎や葉をケイ酸で固く守り、動物に食べられにくくしたのである。ケイ酸はガラスの原料にもなるような硬い物質である。

さらに、イネ科植物は葉の栄養価を低くして、餌として魅力のないものにした。

食害を防ぐのであれば、毒となる物質を作ればよいのではないかと思うかもしれない。実際に、そうやって身を守る有毒植物もある。しかし、毒成分を作り出すにはそれなりに栄養分がある。栄養分の少ないやせた草原で毒成分を生産するのは簡単ではない。

また、毒に対して生物は抵抗性を発達させるので、毒で守ってもいずれそれを解毒する能力のある生物に食べられてしまう。

そこで、③ 栄養価の少ない厳しい環境を逆手に取り、さらに栄養の少ない葉を作り出したのである。

イネ科植物の工夫はこれにとどまらない。イネ科植物は、さらに革命的な進化を遂げたのだ。

一般の植物は、成長点が茎の先端にある。こうして新しい細胞を積み上げながら、上へ上へと伸びていくのである。ところが、このやり方では茎の先端を食べられると大切な成長点を失ってしまうことになる。

そこでイネ科植物は、成長点を低くする適応を遂げた。イネ科植物の成長点があるのは、地面の際である。そしてイネ科植物は、茎を伸ばすことなく、株元に成長点を保ちながら、そこから上へ上へと葉を押し上げるのである。これならば、葉っぱの先端を食べられるだけで、成長点が傷つくことはない。

ただし、この成長方法には重大な問題がある。

上へ上へと積み上げていく方法であれば、細胞分裂をしながら自由に枝を増やして葉を茂らせることができる。しかし、作り上げた葉を下から上へと押し上げていく方法では、後から葉の数を増やすことができないのだ。

そこで、イネ科植物は株元で茎を増やしながらか、葉を押し上げる成長点の数を増やしていく方法を編み出した。これが「分げつ」と呼ばれるものである。

こうしてイネ科植物は地面の際から葉がたくさん出たような株を作るのである。

このようにしてイネ科植物は硬くて栄養価のない葉や低い成長点を発達させた。しかし、草食動物も食べなければ生きていけない。そこでウシやウマなどの草食動物の祖先は、栄養価の少ない葉を体内で発酵させて栄養価を得るように進化を遂げていく。草原ではイネ科植物と草食動物の共進化が起こつていくのである。

草食動物はイネ科植物を餌にするように進化を遂げたものの、硬くて栄養価の低いイネ科植物は、人類にとっては食糧にできない役に立たない植物であった。人類は火を使うことはできるが、何しろイネ科植物の葉は硬くて、煮ても焼いても食べることはできないのだ。

④ しかし、どうだろう。

現在、イネやコムギ、トウモロコシなど、人間の主要な食糧となっているのは、イネ科植物である。

イネ科植物は茎や葉は硬くて栄養がないので食べられないが、種子は栄養豊富なのである。

イネ科植物の種子は主に炭水化物を蓄積している。この炭水化物は種子が発芽するためのエネルギーを生み出す栄養分である。

種子の中には、炭水化物以外にもたんぱく質や脂質を栄養源として持つものがある。たんぱく質は植物の体を作るための栄養分である。脂質は炭水化物と同じように発芽のためのエネルギーであるが、炭水化物に比べると莫大なエネルギーを生み出すという特徴がある。脂質をたくさん含むコーン油の原料となるトウモロコシは成長量が大きいし、同じように油を搾るゴマやナタネの種子は小さい種子に発芽のエネルギーを蓄えているのである。

ところがイネ科の種子は、たんぱく質や脂質が少なく、ほとんどが炭水化物なのである。⑤それはなぜだろう。

たんぱく質は植物の体を作る基本的な物質だから、種子だけではなく、親の植物にとっても重要な食物である。また、脂質はエネルギー量が大きい代わりに、脂質を作り出すときにはエネルギーを必要とする。あ、たんぱく質や脂質を種子に持たせるためには、親の植物に余裕がないとダメなのだ。

厳しい草原に生きるイネやムギにそんな余裕はない。そのため光合成をすればすぐに得ることができる炭水化物をそのまま種子に蓄え、芽生えは炭水化物をそのままエネルギー源として成長するというシンプルなライフスタイルを作り上げたのである。

それに、草原では、大型の植物と競争して伸びる必要もないし、むしろ大きくなれば草食動物の餌食になるだけである。そのため種子にたんぱく質やエネルギー量の大きい脂質を蓄える必要もなかったのである。

こうしてイネ科植物は種子に炭水化物を蓄えるようになった。この炭水化物こそが人類にとって重要な食糧となったのである。

い、である。

人類がイネ科植物の種子を簡単に食糧にできたかといえば、そんなことはない。

イネ科植物の種子を食糧とするのは簡単ではない。

何しろ植物の種子は小さい。植物の種子を何万粒、何十万粒と集めるのは簡単なことではないのだ。

コムギの祖先種と呼ばれるのが「ヒトツブコムギ」という植物である。

野生のムギと、栽培^{さいばい}されているムギを比べた場合、人間にとって、もつとも重要な性質は何だろうか。それは、味や収量ではない。種子^{たね}が落ちないということである。

野生の植物は、子孫を残すために種子をばらまく。しかし、土の中にはばらまかれた種子を拾い集めるのは大変である。しかし、栽培されているムギは、熟してもすぐには種子^{たね}が落ちない。だから収穫^{しゆわく}して種子を集めることができるのである。

種子^{たね}が落ちる性質を「脱粒性^{だつりゆうせい}」という。自分の力で種子を散布する野生植物にとって、脱粒性はとても大切な性質である。しかし、わずかな確率で種子の落ちない「非脱粒性^{ひだつりゆうせい}」という性質を持つ突然変異^{とつぜん}が起こることがある。

種子^{たね}が熟しても地面に落ちないと、自然界では子孫を残すことができない。「非脱粒性^{ひだつりゆうせい}」という性質は植物にとって致命的^{ちめいてき}な欠陥^{かかん}なのである。

ところが、この性質は人類にとっては、ものすごく価値あるものである。種子^{たね}がそのまま残っていれば、収穫して食糧にできる。また、その種子^{たね}を蒔^まいて育てれば、種子^{たね}の落ちない性質のムギを増やしていくことができるのである。

そしてあるとき、私たちの祖先は、この突然変異の株を見出したのである。

種子^{たね}の落ちない非脱粒性の突然変異の発見。これこそが⑥人類の農業の始まりである。これは人類の歴史にとって革命的な出来事だったと言っているだろうか。

(稲垣栄洋『雑草と日本人』より)

注1 地殻変動 … 地球の一番表面に存在し、大地と呼ばれる部分をつくるものを「地殻」と呼び、この部分が様々な原因で地形を変えてしまうことを地殻変動という。

問一 — 線①「植物は、もともと風で花粉を運ぶ風媒花から、効率よく昆虫に花粉を運ばせる虫媒花として進化した」とありま

すが、植物の進化についての説明として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、イネ科植物は風で効率よく花粉を飛ばすために、進化することなく風媒花であり続けた。

イ、イネ科植物は乾燥地帯で進化した。花粉を運ぶ昆虫が少なかったため虫媒花として進化した。

ウ、イネ科以外の植物の多くは、効率よく花粉を運ぶために風媒花として進化していった。

エ、イネ科以外の植物の多くは虫媒花に進化した。イネ科植物は乾燥地帯に適応するため風媒花に進化した。

問二 — 線②「イネ科植物は草原で劇的な進化を遂げた」とありますが、イネ科植物だけに見られる進化の内容を、本文中の言

葉を用いて十字前後で三つ答えなさい。

問三 — 線③「栄養価の少ない厳しい環境を逆手に取り」とありますが、「逆手に取り」とは具体的にはどういうことですか。

その説明として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、自生している場所が乾燥地帯のやせた草原であることを受け入れて、独自の進化をしたこと。

イ、自生している場所が乾燥地帯のやせた草原であることに反して、毒成分を作ろうとはしなかったこと。

ウ、自生している場所が乾燥地帯のやせた草原であったにもかかわらず、毒成分で身を守ろうとしたこと。

エ、自生している場所が乾燥地帯のやせた草原であるため、仕方なく茎や葉を固くして身を守ったこと。

問四 — 線④「しかし、どうだろう」とありますが、これはイネ科植物のどのような点に対して疑問を投げかけたものですか。

次の説明文の に当てはまる表現を、本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

● 煮ても焼いても食べられないが、 こと

問五 — 線⑤「それはなぜだろう」とありますが、この問いに対する答えとして適当なものを、次のア～オから二つ選び、記号

で答えなさい。

- ア、野生のイネ科植物は、他の植物と比べて人類にとって最も大切な栄養分である炭水化物を豊富に持っているから。
- イ、親の植物が大量のエネルギーを使わなくても、光合成だけで簡単に生み出せる炭水化物で種子が成長できるから。
- ウ、たんぱく質や脂質は発芽のためのエネルギーになるが、親の植物が厳しい環境の中でそれらを作るのは難しいから。
- エ、エネルギー量が豊かな栄養素によって大きく伸びてしまうと、草食動物に食べられる可能性が高くなるから。
- オ、脂質は炭水化物以上に莫大なエネルギーを作り出すことができるため、草食動物の餌になる心配が無くなるから。

問六

あ、 い に当てはまる最も適当な語を、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

あ ア、そこで イ、つまり ウ、すると エ、また

い ア、さて イ、そして ウ、しかし エ、だから

問七

— 線⑥「人類の農業の始まり」とありますが、何がきっかけで農業が始まったのですか。本文中の言葉を用いて三十字以内で説明しなさい。

問八

イネ科植物についての説明のうち適当なものを、次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、毒を作るにはエネルギーが多く必要なので、やせた草原に生きるイネ科植物は有毒植物に進化しなかった。
- イ、地殻変動によって生まれた地形では、気候が大きく変動したことが原因で、イネ科植物が生まれた。
- ウ、イネ科植物は成長点を低くするように進化したため、ほとんどの草食動物たちから葉を守るようになった。
- エ、人類が栄養価の低いイネ科植物を食糧にできたのは、煮る、焼くといった食べるための工夫をしたからである。
- オ、草食動物がイネ科植物の葉をエサにできたのは、体内で栄養価を高められるように進化したからである。

第三問題 次の——線部の文字や言葉の使い方が正しければ「○」を解答欄に記入し、間違っていれば正しく訂正しなさい。

- ① 崇徳中学校の入試問題は、簡単なようで難しい。
- ② 自分たちだけではわからないので、専門家に相談する。
- ③ 「こんばんわ」「夜遅くまでお仕事お疲れ様です」
- ④ 兄だけいつも新品の服を買ってもらえるのは非公平だ。
- ⑤ あの夫婦は以心伝心で気持ちが通じ合っている。

第四問題 次のSNS上でのやりとりを読んで、後の問いに答えなさい。

興仁君「あ、グループトークにメッセージが来てる。見てみよう」

生徒A「〇〇先生の話って、ウケるよね」

生徒B「たしかに、aやばい」

生徒A「あと、語尾に必ず『ね』をつけるよね」

生徒C「わかるwww」

生徒A「今度、何回言ったか数えてみようよ」

生徒B「数がbやばいことになるよw」

興仁君「Aは本当に面白いところに気付くよな。返信したら、お風呂入ってこよつと」

興仁君「A、それはやばいね」

生徒A「え どういうこと 何か言いたいこともあるの」

生徒B「せっかく盛り上がってるのに」

生徒C「ノリ悪いな」

生徒A「無視かー 返信しなよ」

興仁君「ふー、お風呂気持ちよかった。メッセージ返ってきてるかな？

え？ そんなつもりで言ったんじゃないよ！ どうしよう……」

問一 — 線 a、b の「やばい」をわかりやすい言葉に置きかえるとき、最も適当なものを、次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア、あやしい イ、多い ウ、少ない エ、よくない オ、おもしろい

問二 後半のグループトークについて、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章の空欄にあてはまる表現として、最も適当なものを、後のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

● 興仁君は という意味で「やばい」と返信したが、生徒 A B C は という意味だと受け取った。

ア、あやしい イ、多い ウ、少ない エ、よくない オ、おもしろい

(2) 興仁君は、返信するときどのようなことに注意すればよかったですでしょうか。考えて答えなさい。

令和七年度 中学校A日程入学試験問題 解答欄 らん [国語]

第一問題

問一 (1)

(2)

(3)

問二

問三

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問十 I

II

III

第二問題

問一

問二

10

10

10

問三

問四

10

問五

問六 あ

い

問七

10

20

問八

第三問題

①

②

③

④

⑤

第四問題

問一 a

b

問二 (1) I

II

問二 (2)

受験番号	名前	※得点
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

中国

※印欄には記入しないこと